

第 35 回岩手県食の安全安心委員会議事録

1 開催日時及び場所

令和 7 年 6 月 12 日（木）13 時 30 分から 15 時 00 分 盛岡市勤労福祉会館 5 階 大ホール

2 出席者の氏名

（1） 委員

小山田緑委員、菊地セツ子委員、山口真樹委員、吉田敏恵委員、井口一三委員、佐藤圭委員、佐藤浩文委員、信田陽一委員、梁川真一委員、菊池拓朗委員、笹田怜子委員、佐藤至委員、平澤和樹委員

（2） 関係室課等

櫻井直之防災課主査、志和池雄大学事振興課主事、昆野智恵子環境保全課主任主査、川又康明資源循環推進課主任主査、浅沼公紀若者女性協働推進室主任主査、栃内圭子健康国保課医務主幹、近藤誠一健康国保課主任主査、坂下藤子健康国保課主任、佐賀唯衣子ども子育て支援室主任、佐々木文永産業経済交流課主査、田澤英寿農林水産企画室主任、小野寺真希子流通課主任主査、渡邊紀之流通課主任、内田愛美農業普及技術課上席農業普及員、阿部結農業普及技術課技師、昆野雄介畜産課主任主査、石田太朗水産振興課主任、佐々木司水産振興課主任、粒來幸次保健体育課主幹兼保健体育担当課長、熊谷啓之生涯学習文化財課社会教育主事、千葉和久環境保健研究センター首席専門研究員兼衛生科学部長、高橋雅輝環境保健研究センター保健科学部長、泉山嘉男県民生活センター主査

（3） 事務局

中里裕美環境生活部長、内城仁環境生活副部長、木村真智県民くらしの安全課総括課長、阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長、晴山久美子主査、山口真右主査、間澤大地主任、金野壱星主事、引屋敷俊主事、齋藤楓主事

3 議事の概要

（1） 開会

（2） あいさつ

中里裕美環境生活部長があいさつを述べた。

（3） 議事

ア 令和 6 年度における食の安全安心の確保のための施策評価について

阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長から資料 1-1 及び資料 1-2 により説明があった。

【質問・意見等】

- 吉田敏恵委員 資料 1-2 の 3 ページの学校給食の県産食材の割合についてですが、この割合の出し方は不作為に選んだ学校、確か 7 校の割合だと思うのですが、これは例えば、自分の感覚としては県産の割合が高いのはいいのですが、実際は本当にこんなに高いものなのか、学校給食でいえば無償化の運動など取り組んでいる中で、様々なご意見を聞いたりする中では、県産品をもっともっと取り入

れて欲しいという意見があるのですが、こんなに6割近くも使っているように思えなかったので、サンプル数が少なすぎるのではないかと、あるいは季節はどうか、例えば、冬だとほとんど県産食材は使えないのではないかと、お米がほとんどの割合を占めていて、実際は野菜とかお肉が少ないのではないかと。疑っているようで申し訳ないですが、本当にこの指標でいいのか、もっとサンプル数を増やすとか、調べる所を増やすともっと低くならないのかという質問です。

- 粒來幸次保健体育課主幹兼保健体育担当課長 学校給食の県産それから国産の調査についてご質問いただきましたけれども、この調査は国の調査でありまして、国の調査の数値をそのまま資料に使わせていただいて、国のサンプル数が7校と指定されているもので、この数で行っているものでございます。
- 吉田敏恵委員 県の中での施設で選んでいないということでしょうか。あるいはサンプルの仕方が国の指標ということでしょうか。実際県で7校選んでいるのは、例えば、田舎の方の学校なのか盛岡の学校なのかによって全然違うような気がします、それは均等に県北、県南、盛岡という選び方なのでしょうか。
- 粒來幸次保健体育課主幹兼保健体育担当課長 規模につきましてはサンプルを選んでいくという風になっております。
- 吉田敏恵委員 自分の思う質問への答えではないですが、規模としてはできるだけ全県、まず7校が少ないと思うので、国の指標とはいいますが、できるだけ増やして欲しいというのが1点と、7校なのであれば県北とか盛岡とかそれなりに全県を覆うように選んでいただきたい。それで県産率を出す方がより正確なのではないか。
- 佐藤至委員長 例数評価数が少ないと、年によって大きな傾向があると思うのですが、去年あるいは一昨年の数値はどのくらいでしょうか。
- 粒來幸次保健体育課主幹兼保健体育担当課長 確認の上、回答させていただきます。
- 佐藤至委員長 その他意見等なければ、先程のご意見は今後に取り入れていただくということで、令和6年度食の安全安心の確保のための施策評価について、承認いただけるということでよろしいか。（委員から異議なし）

イ 令和6年度における取組実績及び令和7年度取組計画について

岩手県食の安全安心推進計画

阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長から資料1-3により説明があった。また、県以外の主体の取組について、資料1-4により、小山田緑委員、佐藤圭委員、信田陽一委員から説明があった。

【質問・意見等】

- 佐藤至委員長 資料1-3の8ページの取組項目59番、野生鳥獣肉の処理を行う施設への立入り指導についてですが、立入りした結果はどうだったのでしょうか、全く問題なく管理されていたということでしょうか。
- 阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長 立ち入り指導の結果、特に問題はなかった。
- 佐藤至委員長 今現在は県内に2施設だけということでしょうか
- 阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長 大槌町と遠野市に1か所ずつである。
- 佐藤至委員長 令和6年度における食の安全安心推進計画の取組実績、令和7年度の取組計画について、承認ということでしょうか。
(委員から異議なし)

岩手県食育推進計画

阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長から資料2-1及び資料2-2により指標の状況について説明があった。

【質問・意見等】

- 山口真樹委員 子供の欠食率、肥満傾向など肥満と同様に痩せすぎの子供が増えている中でそちらの方も調査していただけると、食の大切さや保護者に対してのアピールにもなっていくのではないかと思いますので、意見をさせていただきました。
- 佐藤至委員長 今現在はそのような調査は行っていないのか。
- 粒来幸次保健体育課主幹兼保健体育担当課長 肥満傾向の部分で、体重と身長を計測しておりますので、その中で痩せているというのも数値としては、調査している状況でございます。資料では肥満だけを載せておりますが、痩せすぎについても把握はしております、事務局としては二極化しております、肥満傾向の高い子供たちもいることすし、痩せている子供もいるところでございます。

続いて阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長から資料2-3により説明があった。また、県以外の主体の取組について、資料2-4により、小山田緑委員、佐藤圭委員、信田陽一委員から説明があった。

【質問・意見等】

- 佐藤至委員長 短角牛を提供して給食で食べてもらったということなのですが、この提供という意味合いは無償で提供するということでしょうか。
- 信田陽一委員 補助という形での提供となります。
- 平澤和樹委員 前の資料に遡るような質問になってしまって恐縮なのですが、お聞きしたいなと思

います。様々な取組とその評価をしていただいている一方で少し気になったのが、取り組みとアウトプットがどう最終的に指標に関係するのかというロジックのモデルをどう構想されているのかなというところが、正直研究に身を置く人間としては気になりまして、特にその資料2-2と資料2-3のところで、独自の取組を見たときに、主要指標のところの肥満者の割合というところに、直接影響しているアウトプットの数がかなり少ないように見受けられると思います。それ以外の部分で間接的に影響すると考えられるのかなと思う取組の方が圧倒的に多いため、そのあたりをどのように構想化できるのかということをお聞きしたいのと、主要指標、参考指標というのは県の独自のものであって、国で決められているものなのかということをお聞きしたいなと思います。

- 阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長 指標のロジックについて、詳細な資料を持ち合わせていないですが、今年度で現行計画が終了し来年度以降新たな計画を策定するという事で、冒頭でもご説明いたしましたけれども、適正な指標の設定ということでいただいたご意見を踏まえながら今後進めさせていただきたい。

指標について、国の基準の指標なのかというところですが、基本的には食の安心安全推進計画につきましては少なくとも県の独自の指標として設定しており、食育推進計画の方につきましては国の食育基本計画を踏まえた指標を設定しているところである。

- 佐藤至委員長 令和6年度における食育推進計画の取組実績、令和7年度の取組計画について、承認ということでよろしいか。
(委員から異議なし)

ウ 次期岩手県食の安全安心推進計画の基本的方向について

岩手県知事から岩手県食の安全安心委員会委員長あての諮問書が、中里裕美環境生活部長から佐藤至委員長に提出され、次期岩手県食の安全安心推進計画策定についての諮問が行われた。

エ 次期岩手県食育推進計画の基本的方向について

岩手県知事から岩手県食の安全安心委員会委員長あての諮問書が、中里裕美環境生活部長から佐藤至委員長に提出され、次期岩手県食育推進計画策定についての諮問が行われた。

諮問後、阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長から資料3及び資料4により、次期岩手県食の安全安心推進計画及び岩手県食育推進計画の基本的方向について説明があった。

【質問、意見等】

- 吉田敏恵委員 案を作成してから諮問した後にパブリックコメントや地域説明会を行うのが、食育推進計画の方が2、3か月とずれていて遅くなっているのですが、食の安全安心推進計画については年度内の2月議会に提出しなければならない一方で、食育推進計画については来年の6月議会に提出と期間がずれる理由を教えてください。

- 阿部嘉智県民くらしの安全課食の安全安心課長 食の安全安心推進計画につきましては県の条例に基づく計画であり、食育推進計画は国の基本計画に基づく計画ということで、計画の策定根拠が異なるということと、現行計画が令和7年度で終了し、令和8年度から次期計画の策定ということで、基本的には本年度中に策定するものですが、食育推進計画につきましては、国の基本計画の策定スケジュールが少し遅れており、最終の骨子案が11月の公表予定であるため、その前段階として重点事項は6月下旬頃に示されるのですが、11月に骨子案が公表されてからの作業になりますと、年度内の策定は困難である他、国の考え方を踏まえた上で、委員の皆様から十分なご意見をいただき次期計画に反映させていただきたいというところから、食の安全安心推進計画の策定スケジュールとは異なりますが、計画の期間としましては、令和8年4月からということで策定作業を進めさせていただきたいと考えております。

オ 次期岩手県食の安全安心推進計画策定部会及び次期岩手県食育推進計画策定部会の設置と部会員の指名について

次期岩手県食の安全安心推進計画策定部会及び次期岩手県食育推進計画策定部会が設置され、次期岩手県食の安全安心推進計画策定部会に所属する委員として、小山田緑委員、吉田敏恵委員、井口一三委員、田野秀司委員、佐藤圭委員、佐藤浩文委員、信田陽一委員、菊池拓朗委員、佐藤至委員が、次期岩手県食育推進計画策定部会に所属する委員として、佐々木里美委員、菊地セツ子委員、山口真樹委員、小野寺真由美委員、新沼辰彦委員、梁川真一委員、笹田怜子委員、平澤和樹委員、が委員長により指名された。

カ その他

【質問・意見等】

- 粒来幸次保健体育課主幹兼保健体育担当課長 最初にご質問いただいております学校給食における県産と国内の利用割合についての回答でございます。資料1-2の3ページの部分でございますが、まず令和3年度と令和4年度の状況でございますが、県産につきましては、令和3年度が57.9%、令和4年度が60.9%。国産につきましては、令和3年度が89.4%、令和4年度が93%となっております。また抽出した施設の場所でございますけれども、教育事務所単位ではございますが、盛岡地区が2ヶ所、県央、県南、沿岸南部、宮古、県北それぞれから1ヶ所ずつ抽出して、調査を実施しているものでございます。
- 吉田敏恵委員 今の件については理解しましたが、やはり抽出が国がそうだからという話ではあります。県の食の安全安心、あるいは食育推進であればもう少し抽出の数を増やすなど、県産食材の給食が89.4%とか、93%というのは少し考え難い。普段の私たちの食事はそうではないのに、給食だけが実際そんなに食べているとは思えないので、そのあたりの抽出を増やさないと本当の指標にはならないのではないかという意見はもっておりますので、そこは今後の議論の中でも出していきたいなと思っております。

○ 佐藤至委員長 学校給食における県産と国内の利用割合は重量ベースの割合という認識でよろしかったでしょうか。

○ 粒來幸次保健体育課主幹兼保健体育担当課長 金額ベースの割合になります。参考までに全国の平均でございますが、国内の割合が 88.5%、各都道府県内の割合が 55.4%ということで、文部科学省から発表されております。調査のサンプル数につきましては、県で独自に増やすことができるのか、その数値と文部科学省に報告する数値の兼ね合いも踏まえて確認させていただき、今後の計画において、どのような指標を設定できるか検討させていただきたいと思います。

(4) 閉会